



平成 30 年 1 月 16 日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所

公開型研究発表会 「第 51 回 IRIDeS 金曜フォーラム」の開催 テーマ：災害が起きたときに 現場で求められているものは何か

東北大学災害科学国際研究所では、各部門・分野を横断して災害にかかわるさまざまな調査・研究を行っています。

「IRIDeS 金曜フォーラム」は、研究所における日頃の研究の成果を公開し、社会貢献、研究の連携・融合を図ることを目的に、月に 1 回、情報発信・討論の場として開催しています。

第 51 回のテーマは「災害が起きたときに、現場で求められているものは何か」です。今回は、東北大学災害科学国際研究所で目指している「実践的防災学」の創成に向けて、当研究所の研究者たちが、これまでの現場での研究や実践を通して見てきた知見を紹介・議論をします。

今回のフォーラムでは、所内のみならず学内外・一般の方々に公開することで、研究内容について多様な視点から検討をすること、さらには所内における異分野間の共同研究の促進のみならず、一般企業との共同研究・事業構築へ繋げること目的としています。つきましては、本フォーラムの開催についてご周知いただくとともに、当日はぜひご取材のうえ、紙面・番組等でご照会いただけますと幸いです。

聴講において事前申し込みは必要としませんが、取材申し込みについては資料作成の都合上、事前に広報室宛にご一報をいただければ幸いです。

フォーラムの詳細につきましては、次頁および下記 HP をご参照ください。

金曜フォーラム HP: <http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html>

【問い合わせ先】

東北大学災害科学国際研究所

担当: マス・エリック・佐藤翔輔(金曜フォーラム WG)

中鉢奈津子・鈴木通江(広報室)

電話(広報室) 022-752-2049

E-mail(広報室) koho-office@irides.tohoku.ac.jp

【詳細】

東北大学災害科学国際研究所

第 51 回金曜フォーラム「災害が起きたときに、現場で求められているものは何か」

日時:2018 年 1 月 26 日(金) 16:30～18:30

会場:東北大学災害科学国際研究所

1 階 多目的ホール(仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1)

当日スケジュール:

16:30～16:55 GB-SAR による地滑りモニタリング技術

— 荒砥沢, 南阿蘇での実践から —

佐藤 源之(災害リスク研究部門 広域被害把握研究分野

※東北アジア研究センター)

16:55～17:20 豪雨災害から命を守るために必要な考え方

森口 周二(地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野)

17:20～17:45 公衆衛生学と人工知能解析技術を用いた災害対応

栗山 進一(災害医学研究部門 災害公衆衛生学分野)

17:45～18:10 より効果的な復興のために ～必要な備えと実行体制～

平野 勝也(情報・社会連携部門 災害復興実践学分野)

※残り時間, 質疑応答・総合討論

(進行:マス・エリック, 佐藤翔輔)

【アクセスマップ】

